
W学園でッ！

パフィン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

W学園でッ！

【Nコード】

N9470X

【作者名】

パフィン

【あらすじ】

W学園での出来事です。

議長の憂鬱

恐れ入ります。菊です

今回、わたしたち生徒が主役らしいですが・・・

この時期になると学園祭の準備で
そわそわしているものです。

みなさまに

楽しんでいただけると光栄です。(ニコ

ここはヨーロッパクラス

やっとのことで静まり返った会議室には
朝の光が大きな窓から降り注ぐ

アーサー…今年の学園祭の劇は何をするかという

議題だ！

誰かい案はないか？

フランスス…あのさ…いい案は無いけどよ

なんでお前が議長なんだ？

普通に考えればお兄さんだと思うけど、な？

アーサー…お前なんか任せるとロクなことがないからな

アーサーが皮肉っぽく上目線で言った。

ルード…お前ら、また喧嘩するつもりか！

いい加減真面目に会議をすることができんのか・・・

フェリ…ハイハイ俺案あるよ

え〜っと『不思議の国のアリス』はどう？

アントーニョ…それなら俺もフェリちゃんに賛成や！

あれならヨーロッパクラス全員役が当たるんちゃう？

ギル…俺様はもったかつこいいのがいいけど

フェリちゃんがそうしたいのなら賛成だぜ

バッシュ…我輩はハイジ・・・いや、アリスでいいのである。

バッシュが不満ありげに語った

今発言した人のほかは別のことをしているが

一応『不思議の国のアリス』で賛成らしい。

アーサー…じゃあ『不思議の国のアリス』で決まりだな。

ほとんどが頷く。

フランシス…じゃあさ、役決めをしようか

アリスは〜・・・

アーサーでよくないか？

フランシスがにやけ顔で言う

アーサー…じよ、冗談じゃねえよバカ！

ギル…俺も賛成だぜ

フランスの倍ぐらいニヨニヨしながら手を挙げながら喋る。

ルード…に、兄さんまで……

フランス…ン…そんなじゃあ

アーサーはア・リ・スな

アーサー…（震え

お前らな…

議長が珍しく泣き目だそこでアーサーの心を探してみる

やばい、やばすぎる

俺がアリス……だと

文化祭だぞ

てことは女王陛下がお見えになるんじゃないか！

こんな感じである。

かわいそすぎるので次回で！

その頃・・・(前書き)

ヨーロッパクラスの会議と同時に始まった
アジアクラスの会議の話。

その頃・・・

少し小さめの第二会議室には
ぞろぞろとまたいつものやつらがやってきた。

パンダ…この会議では今度の学園祭に何をするか決めるアル
誰かい意見はねーアルカ？

少しの間静まりかえる・・・

ヨンス…俺は韓国ドラマからとればいいと思うんだぜ！

この人の発言で空気が柔らかくなった

湾…阿多氏はファンタジーがいいヨ！

竜とかが出てかっこいいのがいいネー

ギャル男…俺もファンタジーがいい的な

菊…わたしは皆さんに合わせます

カムヘン…えーと・・・ファンタジーですね

カムヘンがホワイトボードにキュッキュという音を立て
ながら文字を書く。

フーチェン…わたしもファンタジーでいいとおもうが・・・

パンダ…じゃあファンタジーで決まりあるね！

何の劇をやるかを次に決めるあるよ

我は三国志がいいある

あれなら竜とかも出るし

戦闘シーンとかかっこいいアル

菊(心)・・・三国志は確か

長編で、30分の劇にまとめるのは難しいですね

それに、もっと見ている人が目を輝かせるような劇が・・・

菊・・・あの、わ、わたしはファンタジーなら

ヨーロッパのお話にしたほうが華やかですし

いろいろなシーンで楽しめると思います！

菊が緊張ぎみで語った

これにはパンダ以外賛成らしく、みんなが頷いた

パンダ・・・菊、ここはアジアクラスアルよ

我は西洋の話なんか入れたくねーある

湾・・・センサーダメよく文化祭は何をしてもいいんだヨ

阿多氏は西洋のファンタジーで賛成ネ！

ギャル男・・・俺も湾に賛成的な

湾がフーチェンに向かってウインクした

フーチェンは長いひとまとめにした髪を手で肩にかけ
すっと立ち上がった

フーチェン・・・わ、わたしも賛成だ・・・

パンダ…何あるか何あるか・・・

分かったあるよ西洋の昔話にするあるー

菊（心）…この人、だいぶ三国志がやりたかったようですが

悪いのですが引いてもらえてホッしました・・・

湾…じゃあシンデレラがいいネ！

かっこいい戦闘シーンはないけどとっても素敵だよ

ヨンス…シンデレラの起源はおゲホっゴホゴホ

菊…じゃあシンデレラでいいと思います。

湾…後それと、シンデレラは菊がいいとおもうネ！

びくっ菊が震えた。

菊…え、わ、わたしですか？！

わたしは主役などやったことないですし・・・

それにシンデレラって女性の方ですよネ？

湾…大丈夫ヨ！菊ならできるヨ！

こうして時間がなくなったので会議は中断された
あっちでもこっちでも似たような現象が起こっていることは誰も
知らないまま・・・

その頃・・・(後書き)

今後もどうなるか自分で考えながら頑張ろう！

不思議の国で（前書き）

ヨーロッパクラスの練習風景です。

不思議の国で

『不思議の国のアリス』をやることになったヨーロッパクラスだが
数時間の会議によりやっと全員の役が決まった。
こんなもんだ

☆アリスⅡアーサー

☆白兔Ⅱフランシス

☆チシャ猫Ⅱベルベル

☆アリスの姉Ⅱウクさん

☆トランプの兵Ⅱギルベルト

ルード

バッシュ

☆ディーとダムⅡフェリシアーノと

ロマーノ

☆赤の女王Ⅱナターシャ

☆白の女王Ⅱエリザベータ

☆マッドハッターⅡローデリヒ

☆ドーマウスⅡヘラクレス

☆アブソレムⅡ世の中銭な奴。

☆花畑の花Ⅱローリス

フェリクス

☆三月ウサギⅡアントーニョ

そんな感じになりました。

これからはアリス役以外が小道具づくりに取り掛かり

アリスは個人で練習です。

このアリス役・・・まだぶつぶつ言ってるけど大丈夫だと

思います。

ちょっと少ないけど今回はここまでです
あと少しで学園祭なのに大丈夫なのか？

不思議の国で（後書き）

もうそろそろ本番に近づいてきました！
どうなるのやら・・・

そして当日（前書き）

あんなこんなしているうちに当日になっちゃったよ！

そして当日

巨大な正門の前

花飾りが美しく飾られている

吹奏楽部が横切った

トランペットの音色

学園祭とは思えないほど華やかすぎる

だがこの人の心は浮かれなかった。

アーサーだ

ただ一人だけこの世の終わりみたいなの

ドス暗いオーラを放っている

そこで茶色い長い髪の子がアーサーの手を

ぐいっと引っ張った

引っ張る子は春が来たかのような顔

引っ張られる子は冬が来てしまったような顔

あまりにも

差が大きすぎる！！

なぜかヨーロッパクラスはジャンケンでぼろ負けし、

どの演出よりも早く舞台に立つことになった。

期待という名の何かがかかったステージに一番に立つということとは

ナニカに締め付けられるような感覚がするというものだ

しかも

一番最初に立つのが

女装して登場したアーサーなのだ！

さて、話は変わって、舞台裏

いろんな奴らが幕がかかったステージで準備をしている

フランスス…んゝ…その家のタテガミは

もうちょっと右だな

あ、あと！

そこに置いてあるランプはもうちょっと暗めに
そう！それぞれ

いろいろな準備が整っていく
秒単位で動く劇だからこそ磨きがかかる
だがみんな忘れている。

この中で劇の練習をしたのはアーサーだけなのだ。

あとのやつらは台本は読んだが読んだだけなのだ

アントーニョ..なあ、アーサーのやついつまでたっても出てこん

がをやけど.....

ベル..大丈夫やで、エリザちゃんがついとるさかい.....

こんなことでちょっと心配です

そして当日（後書き）

いったん眠いので

次回楽しみに！

（一回言ってみたかった^^）

当日 2 (前書き)

前の続きから！

当日 2

ステージ裏でみんながちよくちよくと準備を進める中での衣装室。

（着替え部屋3号室）

アーサー…イタタタタ・・・

おい、そんなに締めるなよ

エリザ…ダメよこれっくらいは我慢しなきゃ！

アーサー…お前らってこんなきゅうくつなものの着てるのか・・・

エリザ…今では着ないけど昔はコルセットなんかも締めて
とてもきゅうくつだったわ

アーサー…イダ！だから痛いからやめろ！

エリザ…あーもう・・・ほら！

できたわ

エリザがにつこりとほほ笑むと俺を鏡の前に連れ出した

アーサー・・・・・・足がスースーするな・・・

エリザ…ふふツとっても似合うわよ

サツとエリザはカメラを取り出してシャッターを押し

『カシャっ』という音がした

アーサー…ああああああ！

写真なんか撮るなバカア！！

顔を赤くして叫んだアーサーは気にせず
エリザはもう一枚撮っていた。

カシヤカシヤツ・・・

エリザ…ん、OK。

じゃあ次は髪型ね

そういつてアーサーの髪をワックスで
くしゃくしゃつともともとくせっけな髪
をもっとくせっけにした
そうすると

髪が多く見えて

まるで髪のをバツサリ切ってしまった
アリスだ。

ショートヘアーのようになってこれはこれで似合う。

そこでエリザは黒い一本のリボンを取り出し。

アーサーの髪に綺麗にしばりあげた。

ショートヘアーのような髪先端から

細めのリボンが結んであるのが

とてもかわいらしい

体格も細めでドレスも似合うし、

しいていえば太い眉毛さえなければ

とても男とは感じられない。

エリザ…これでおしまいよ

アーサーはみんなの手伝いにまわって
次はわたしとベルちゃんが着替えるから

アーサー…俺みんなの前に出なきゃいけないのか……

アーサーの顔が一気に暗くなった

自分の後に着替えるやつがいなかったら

劇が始まるまでここにいようという作戦だったらしい。

だがそれも無念に失敗。

エリザ…あ、ほら、時間が無くなってしまおうわ

そういつてアーサーをつまみ出し、室内から追い出した。

そこで待ち受けていたのは、ヨーロッパクラス一同だった
(エリザを除いて。)

トニーヨ…あ……

ばれてしもたわ

アーサー…うわああ！

なんで待ち伏せなんかしてんだよバカあ！

フランスス…どうせ見るんだしよいち早く見たかっただけ
それにしてもお前……

フランススがアーサーの靴の先から服、顔、髪、リボンまで
ジロジロっとみた。

フランスス…大丈夫だ、すつごくに合ってるから

にやけ顔で言う。

フランスス…それよりどーよ！俺の服！

ちょー似合ってるだろ？

やっぱり、美しい俺だからこそだな

そういつてくるつと回って見せた

白兎の服装はカラフルなチョッキとスーツ。

リアルな首からかけた金色の時計。

そして、頭にはウサギ耳をつけていた

アーサー…なんだよその格好……

ま、まあ……似合ってないわけではないけどな

フランスス…あらどーもっ

それにしても着替えてないのはあとベルとエリザだけで
あとのやつらはカラフルな衣装を身にまとっている。

フェリシアーノとロヴィーノは

おそろいの衣装でどっちがどっちやら
わかりにくい。

ナターシャは銀の髪と透き通るような肌をしているのに
なぜか悪役だ、性格的にはあっていると思うが
っておっと

こんなことを思っているだけで呪われてしまいそうだな。

そんなこんなでステージ裏での準備が終わり、
全員が配置につく。

あとは幕が上がるのを待つだけだ・・・

当日 2 (後書き)

やっとここまで来ましたね！
それにしてもヘタだね！

当日 3 (前書き)

いよいよ出番！
どうなるのか？

当日 3

ビ――――

という音、

放送部の声

『最初の発表はヨーロッパクラスの……』

幕がするすると上がっていく。

アーサー…ふあゝ……ねえお姉さま、読書なんかつまらないわ
(アリス)

ウク…そんなこといわないで……やっぱり

わたしがアリスちゃんのお姉ちゃんだから

アリスちゃんを楽しませてあげられなくてごめんねゝ

ウクが泣き出してしまった

もちろん台本には全くない。

アーサー…あ、あの、姉さんのせいじゃないから

アーサーが必死でつなげようとする。

ウク…えっ……へへ……それじゃあよかったー

やっとなきやんだと思ったらタイミング悪くウサギ登場だ。

フランスス…いつそがっなきゃ〜♪いつそがっなきゃ〜♪

あまりにもテンションが違う。

フランススはくるっと

向きを変え、観客席に向かってかわいい子がいたのか知らないが
投げキッスをした。

アーサー…お前なく…こら待てーーー

もう明らかにアリスというキャラクターから

アーサーという人物になってしまった。

アーサー…あ！…ちょっと待ってうさぎさ〜ん

アーサーは声を変えた。

フランススは急いでいるというより、

アリスから逃げているという感じだ。

アーサー…こんなところに穴が！

と言って落ちてからいったん幕が下ろされた

―――
ステージ裏
―――

アーサー…ちょ、どういうことだよ！

お前ら…もしかして何にも知らないのか…

皆が静まった。

ベル..あ!幕が上がるで

ステージ

アーサー..イタタタタ...ここはどこかしら?

(えーと確か台本には小さなドアがあっても壁を突き破る
だよな...)

アーサー..あら、こんなところに小さなドアがあるわ
ん?水なんかあったかしら水?

小道具『わたしを飲んで小さくなれるわよ』

アーサー..なにそれ、怪しすぎるわ行きましょっ

メキメキ...バリツ...

(これでいいんだよね?)

観客席から『オーウ...』

という声上がる

誰だ?この台本を考えたやつは.....

当日 3 (後書き)

疲れてきたのでいったん止めますね
もうこれはアリスじゃない。

不思議の国のアーサーだ！
そしていろいろごめんなさい。

当日 4 ☆ (前書き)

だんだんと進んできたのですが、
こっからわたしの苦手な科目を
書いていこうと思います。＜

当日 4☆

だんだんと進んでいくストーリー

舞台裏 2

ローリス…ふあゝ…………

もう少しで出番のはずなんだけど……

フェリクス…ちよつと遅くね？

ローリス…それにしてもこの格好…………

フェリクス…俺はいいと思うしーww

ローリス…そ……そうかな…………

ステージ

アーサー…（壁を突き破った演技は良かったと思うが

これからどうすればいいんだよ…………）

ここはどこかしらー（棒読み）

ローリス…あ！出番だよ（小声

ステージ

フェリクス..そこにいる変なの！

止まらんとだめだしー

ローリス
..
.
.
.
.
.
;

あなたはどのようにしてここに来たのですか？

アーサー…俺……おつと！あたしは

穴に飛び込んだらよくわからないけどここにきてしまったのー（棒読み）

フェリクス..それすつごく大変じゃね？

よかつたらポニーかすんやけど

ローリス
..
..
..
..
..
!!
?

アーサー
..
..
..
..
..
!!
?!

フェリクス..どおしたん？

いらんならええしー

アーサー…そ…それなら

貸してもらおうかしら・・・

（どうなっ
てんだよ？

ポニーかるるアリスなんて・・

まてよまてよもしかして

俺がステージに立ってる間に

そういう設定になったのかもしれないし

そ・・・そうだよな？

ローリスもいることだし・・・

って顔ひきつつてねーか？ ローリス・・)

フェリクス…そんならー

今から呼ぶからまっとってくれん

そういつてフェリクスは行ってしまった

その後ろ姿を引きつり顔でローリスが見送る。

時間も時間なのでローリスの肩を

『ポン』

とたたいて立ち去ることにした。

ステージ裏ー

ベル…あ！次うちの出番やわゝ

ベルが目を輝かせて言った

ステージ

アーサー…ハア……

どうすればおうちに帰れるのかしら

(棒読み)

ベル…お嬢さんお嬢さん

お困りのようやね

ニコニコとした顔で、ネコのコスプレをした
ベルが出てきた

その瞬間会場のいたるところからカメラのフラッシュ

音がなりまばゆい光が飛んだ。

アーサー…え……。ええどうすれば家に帰れるかわからないのよ

そう言った瞬間にぱっとベルが巻物らしきものを広げた

ベル…お嬢さんは、白の女王様のところに行って

えーと……

なにもらうんやったつけな？

アーサー…そ……。そんなときかれても……

(おおおおいそこはボーパールの剣だろ!!！)

ベル…えっと……。ワッフルみたいな名前やったわ! たしかなア!

アーサー……。そうなの……

(ボーパールの剣のどこがワッフルなんだよ!?)

ベル…とりあえず……。そやな

ここをgo ahead (まっすぐ前に進む)

していくと、マッドハッターたちがおるさかい

頑張ってな!

アーサー…ええ、わかったわ;

ナレーター(誰かランダム)

こうしてアリスは……。不思議の国を堪能してるの
でした!

休憩入りまーす!

ステージ裏

タッタッタッタ・・・・

菊…助けてくださいッ！

突然アーサーに菊が抱き着いた。

アーサーがパクパクと口を動かしている
顔がみるみる赤くなっていく。

菊…あ！・・・まことにすみませんでした

アーサーさん・・・

菊も顔を赤めて謝った。

アーサーはまだふらふらとしている

トニーヨ…で、菊はどないしたん？

蘭…そうやぎ・・・助けてなんかいっとったさかい

菊…そうでした・・・

やっぱり気にしないでください

そこに水色のレースにきらきらと輝くビーズが
かかったような美しいドレスを抱えたヨンスが走ってきた

ヨンス…菊見つけたぜ！

どうやら菊はアーサーと同じようなことに合わされるらしい。

ヨーロツパクラスの全員がおもった。

菊…ヨンスさん落ち着いて下さい！

………！！

一瞬にして菊の目が輝いた。

よく周りを見てみると

菊の周りにいるヨーロツパクラスの人の
華やかな衣装

とくにさっきあやまって抱き着いてしまった

アーサーの女装といったらなかった

菊…あああああーさーさん！

ふらふらとまだ赤い顔をあげたアーサー

アーサー…なんだ…・菊

って…おわ！

カメラのフラッシュが2、3回なった

菊…ありがとうございます。

その衣装…・・・とてもよく似合ってますよ

につこりと黒笑した菊がいった。

アーサー…そうか…？

き・・・菊に言われてうれしいとか
そんなんじゃ無いからな！
だいたいこんな服・・・・・・・・

また少し顔を赤めたアーサーが
早口でいった。

そんなこんなしているうちに15分の
休憩も終わりそうだ

当日 4☆(後書き)

思ったけどこれいつまで続くんだ？
よく見れば一話一話
会話が長い・・・

当日 5

休憩が終わり

ステージの幕が上がった

緊張感が漂う・・・

アーサー…もう家に帰りたいわ・・・

ぴよんぴよんと二人三脚で息までそろえて

双子がやってきた

フェリ…やあこんにちはアリス

フェリはいつもなら俺を見ただけでびくびくとして
涙目で引き下がっていくのに

なんていう演技力なのだろうか・・・

たぶんこの劇をして初めて感動した。

ロマーノのほうは足がガクガクと震えていて
動作が固まっていた。

フェリ…ねえねえ君

これからヒマ？

俺と一緒にジェラートのおいしいお店
でもいかない？俺がおごるよ？？

（何言ってるんだこいつ・・・）

まさか俺のことアーサーだと思ってないとか
いやいやそんなことないだろ
いくらなんでも）

ロマ…コ…コノばか！

フェリの肩を肘でこんこんと叩いてロマが言った

フェリ…ヴェ？・・・

おわわわわわわわ！！！！

ごめんなさいごめんなさい
てつきりベツラさんかと・・・思っ

ロマ…なんか観客がアリスは美人じゃないみたいに思ってるじゃね
ーかよ

コノヤロー

フェリ…あああ！ごめんごめん

アリスはとーってもベツラさんだよ

フェリがわざと観客にむかって大声で言った
そのあと俺をちらっと見ると足を震わせた

ロマ…チギ…ここここ…なあダム？

アリスが困ってるだろさっさとたちさろうか

フェリ…そそそそそうだね兄ちゃん

顔をこわばらせて退場していく二人

何がしたかったんだ??

審査員（前書き）

俺たちのこと忘れてないか？
という企画

審査員

アル..プフツ・・・

イヴァン..アルフレッド君

さっきから笑いすぎだよ？

アル..H A H A H A !

なんだい？あのヨーロッパの劇は！

斬新すぎるよ！

それに・・・..プフフツ

イヴァン..君ちよつとその笑い方気持ち悪いよ？

アル..フフツ・・・..あ・・・..アーサーの

女装だなんて・・・！！

ダメだ・・・..笑いすぎておなか痛いぞ・・・

イヴァン..もう・・・..だから言ったのにな

アル..そういや・・・..なんで俺たちだけ審査員なんだ？

イヴァン..そうだね

まったく、いやになっちゃうよ

この作者今の今まで僕たちのこと

忘れてたみたいなんだよ・・・

アル..な・・・..なんだって！

このヒーローの俺のことを忘れるなんて許さないぞ！

イヴァン..ほんつと・・・

そういえばアルフレッド君

アル..ん?なんだい

つるはしはしまつてくれよお

イヴァン..ウフッ

ごめんね、作者への恨みが隠せないよ
審査員3人のはずなんだけど・・・
僕と君しかないね

アル..え?審査員2人じゃなかったのかい?

イヴァン..3人って聞いたよ?

アル..んゝ・・・・・・

まったく、もうとつくに劇は始まつてゐるっていうのに
時間に遅れるなんて情けない奴だぞ!

イヴァン..ウフフ・・

君がそれを言えるのかな・・・?

アル..それで、もう一人って誰なんだい?

イヴァン..マシユー君のはずだよ

アル..そういや学園祭だというのに

今日は一回もマシユーを見かけないぞ

イヴァン.. (マシュー君見かける日なんてあるのかな?)

そうなんだ

僕もだよ。

アル..じゃあ今日は休み.....?

イヴァン..きてると思うけどな

アルフレッドの隣にある椅子で

マシュー..ねえクマ吉さん.....

クマ次郎..だれ?

マシュー.....;

こんど名前書いた紙わたすよ...

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9470x/>

W学園でッ！

2011年11月17日19時05分発行